

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要しょう乱の概要&gt;

- 6日は、低気圧が北日本を通過してオホーツク海へ進む。気圧の谷が本州南岸付近を進み、低気圧が日本の南を進む。
- 7日は、低気圧が発達しながら日本の東を北東へ進み、日本付近は次第に冬型の気圧配置となる。
- 8日から10日は、日本付近は冬型の気圧配置が続く。

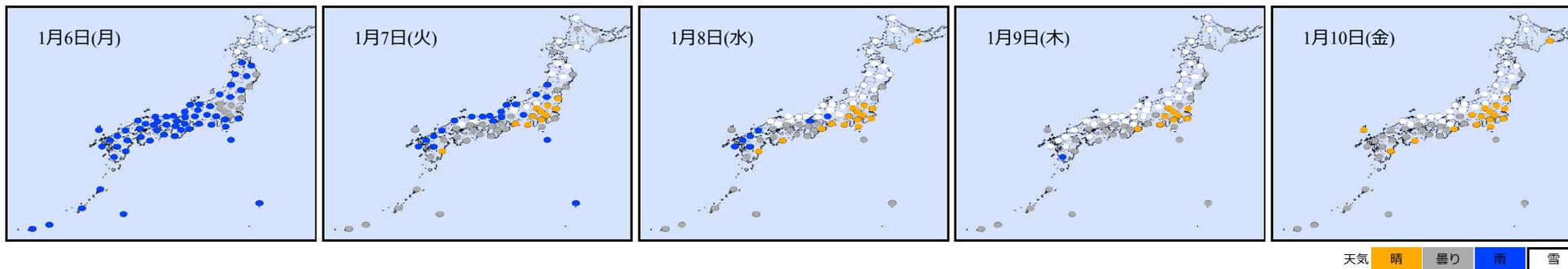
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

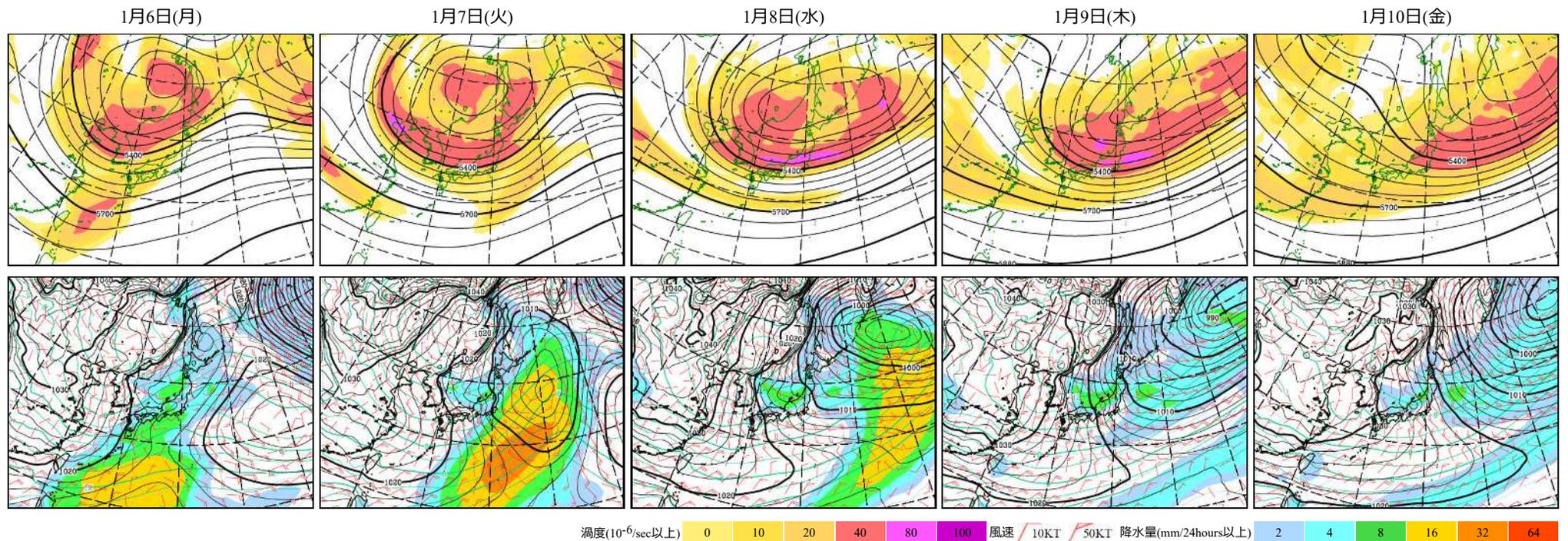
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

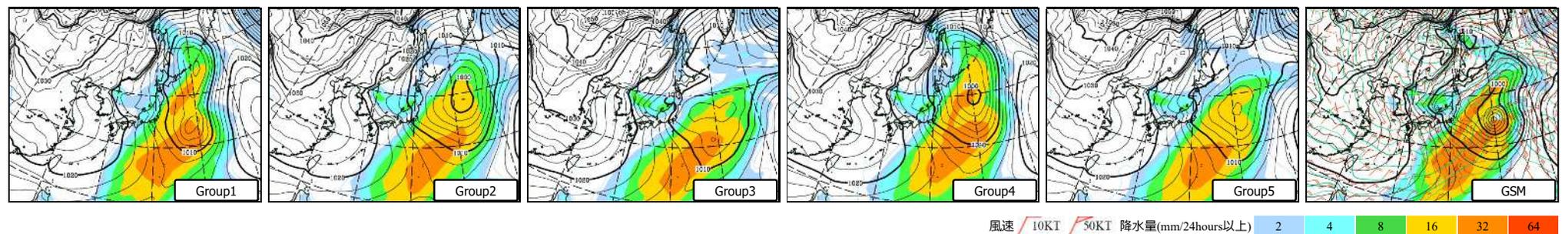


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多い。
- 東日本太平洋側は、6日は曇りや雨となる。7日から10日にかけては晴れる所が多い。
- 西日本太平洋側は、6日は曇りや雨となる。7日から10日にかけては晴れる所もあるが雲が広がりやすい。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、6日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆1月7日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。6日から7日に日本付近に進むトラフがやや深くなった。地上の気圧配置の予想も大きな初期値変わりはない。
- 初期値変わりしたモデルもあるが、モデル間の差は比較的小さい。
- 7日は、NCEPがオホーツク海で発達した低気圧を予想している。ENSには、NCEPに近い予想をするメンバーが含まれるが、数は少ない。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。